

主な内容

Topics	仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン実施中	1 ページ
	国道113号 舘矢間バイパスが開通	2 ページ
	「なんでもや」が食と地域の絆づくり優良事例に 阿武隈の風薫る、水土里の路ウォーキングを開催	3 ページ
	とうもろこし祭りに向けた栽培講習会を開催 新たな銘柄牛肉生産へ始動「蔵王爽清牛」	
	金ヶ瀬さくら大橋現場見学会～金ヶ瀬小学校～ 「うるおいの森づくり」親子自然体験学習会	4 ページ
食材情報	ブルーベリーは7月が旬です 麦秋に輝く「あおばの恋」	5 ページ
お知らせ	商工業者等の皆さまの事業再開を支援します エイズ検査・骨髄バンク登録のお知らせ ヒナを拾わないで	6 ページ
	平成24年度狩猟免許試験及び更新のお知らせ	7 ページ
	みやぎ蔵王三十六景 夏のお勧めスポット	8 ページ



みやぎ蔵王三十六景

「みやぎ蔵王三十六景」とは、みやぎ蔵王を背景としたすばらしいスポットです。仙南地域の新しい観光資源として、地域振興を進めていくために、仙南2市7町の各地から、選定しました。

## Topics ～宮城県大河原合同庁舎の取り組みを紹介します～

### 仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン実施中！

仙南地域の観光スポットをPR！

4月11日から13日にかけて、JR仙台駅2階コンコースで「2012春 みやぎ蔵王三十六景&仙台・宮城【伊達な旅】県南エリア観光キャンペーン」を開催しました。このキャンペーンでは蔵王を背景とした美しい景観「みやぎ蔵王三十六景」の写真展示や、仙南地域の春のおすすめスポットの紹介、各市町による観光PRイベントが行われ、多くのお客様が集まりました。



笑顔咲くたび  
伊達な旅  
仙台・宮城

GFDA Sendai & Miyagi, where smiles blossom

初日は地域の食材をふんだんに使った「みやぎ蔵王弁当」を地元温泉旅館の女将たちがPR。この弁当は女将たちが「元気な仙南」を発信するとともに、復興支援に携わるすべての方々への感謝の想いを込めて企画したもので、駅売店の弁当はすぐに完売しました。3日目に行われた白石市のPRイベントでは、片倉小十郎景綱が率いる「白石戦国武将隊 奥州片倉組」とのじゃんけん大会で、白石うーめんなどの地域特産品をプレゼントしました。

「第54回全日本こけしコンクール」が開催されました

5月3日から5日までの3日間、白石市のホワイトキューブで「全日本こけしコンクール」(主催：白石市・白石商工会議所・宮城県)が2年ぶりに開催されました。

県内外の工人から伝統こけしや創作こけしなど869点が出品され、会場には内閣総理大臣賞など62点の入賞作品をはじめ、小学生が絵付けしたこけしなども展示されました。また、こけしの展示即売のほか、工人による実演や絵付け体験コーナーなど多彩なイベントや地場産品祭りも開催され、期間を通して約4万人の入場者があり、熱心なこけしファンたちで賑わいました。

「復活」の思いが込められた今年のコンクールでは、宮城を代表する伝統工芸品「こけし」を通して復興を全国に発信することができました。

「日本の蔵王ヒルクライム・エコ2012」が開催されました

5月20日に、雪壁が残る蔵王エコーライン・ハイラインを舞台に自転車山岳ロードレース「日本の蔵王ヒルクライム・エコ2012」が開催されました。

快晴の空の下、距離18.7<sup>キロメートル</sup>、標高差1,334<sup>メートル</sup>の国内屈指の難コースを、全国から参加した1,221人の選手たちが一気に駆けのぼり、優勝者は56分20秒の大会記録での優勝となりました。前日には、仙南地域と津波被害を受けた南三陸町、石巻市、亶理町、山元町など、食材王国みやぎの名物料理が味わえる「みやぎ味まつり」も開催され、大会を盛り上げていました。

【地方振興事務所地方振興部】

## 国道 113 号 館矢間バイパスが開通！

丸森町の国道 113 号<sup>なてやま</sup>館矢間バイパスが完成し、5 月 31 日に阿武隈川に架かる丸森大橋で開通式がありました。

開通式には村井知事をはじめ、地元国会議員、保科丸森町長ほか多数の関係者が出席されました。式典は丸森中学校吹奏楽部による演奏から始まり、テープカット、くす玉開披を盛大に行いました。開通式の後は親子三代渡り初めを行い、参加者と見学者は、丸森大橋が将来にわたり地元住民に発展をもたらすようにと願いを込めていました。

このバイパスが開通することにより、大型車同士のすれ違いができない現丸森橋(昭和 4 年完成)の前後の慢性的な渋滞が解消されるとともに、隣接県との交通が円滑になり、物流や、観光、災害時の対応などに大きな役割を果たすことが期待されます。



親子三代渡り初めの様子

【土木事務所】

## 丸森町「なんでもや」が「食と地域の『絆』づくり」優良事例に選定

4 月 10 日に内閣総理大臣官邸で「食と地域の『絆』づくり」選定証授与式が開催され、丸森町の「大張物産センターなんでもや」が、全国 24 の優良事例のひとつとして表彰されました。

「食と地域の『絆』づくり」とは、農林水産省が国民の「いのち」を支える基礎として「食」を生み出す農林水産業と、その舞台となる農山漁村の活力を再生するため、地域内外の結び付きによる創意工夫にあふれた地域活性化の取組を先駆的事例として選定し、発信しているものです。

「大張物産センターなんでもや」では地区内唯一のお店として食料品や生活雑貨を取り扱うだけでなく、集落の高齢化や過疎化に伴う高齢者の孤立化防止のため個人宅まで移動販売を行っています。また普段は取り扱いのない農機具や、軽自動車までも地域住民の要望に合わせて「なんでも」取りそろえるという、地域に根ざして継続してきたこれらの活動が本選定へとつながりました。

「今後は宅配や訪問販売分野の拡大、地域内外の交流の一層の活発化を目指す」との「なんでもや」代表の中村氏の言葉どおり、今後も地域のお店としてより一層の活躍が期待されます。

【地方振興事務所農業農村整備部】



内閣総理大臣官邸での記念撮影

## 放射性物質関連情報

農林産物の放射性物質簡易測定を実施しています

大河原地方振興事務所では、平成 23 年 11 月から簡易型放射能測定器を設置し、農林産物（食品）の放射性物質簡易測定を実施しています。この測定で国が定める基準値の 1/2 を超える放射性セシウムが検出された場合には、精密検査を行うこととなります。

測定結果については、県のホームページ（<http://www.pref.miyagi.jp/ok-nokai/>）などで公表しています。

「放射性物質検査担当者会議」を開催しました

4 月 1 日から食品中の放射性物質に関する新しい基準値が設定されたことに伴い、管内各市町の放射性物質検査担当者を集めた会議を開催しました。会議では各市町でも実施されている農林産物の放射性物質検査の進め方の再確認や、今後の計画などを検討し、検査の徹底を求めるなど、組織間の意思統一を図りました。

「特用林産物等放射能汚染賠償説明会」を開催しました

原木しいたけ、山菜などの特用林産物の生産者及び農産物直売所等の方々を対象として、5 月 28 日に大河原合同庁舎において、東京電力株式会社主催の「特用林産物等放射能汚染賠償説明会」が開催され、賠償請求についての説明がありました。なお、東京電力への放射能汚染に関する損害賠償の相談窓口が下記のとおり開設されています。

【相談窓口】東京電力株式会社福島原子力被災者支援対策本部東北補償相談センター  
0120-993-010（東北補償相談センターフリーコール）

## 阿武隈の風薫る，水土里の路ウォーキングを開催！

4月29日に角田市で、水土里ネットかくだ・大河原地方振興事務所が主催の「水土里の路ウォーキング」を開催しました。このウォーキングイベントは、都市住民の方々に余暇を利用したウォーキング体験を通じて農業・農村の持つ多面的な機能について理解していただくことを目的に、平成18年度から開催しています。

当日のウォーキングコースでは、農業用水利施設の歴史に触れ、地域用水に係る様々な役割を説明することで、参加者に農業・農村の魅力を感じてもらい、休憩所となる水土里ネットかくだで角田産のお米を堪能するなど角田の味力も体感していただきました。

農業農村整備事業に加え、仙南の魅力・みやぎ蔵王三十六景についてもPRを行い、参加者28人は気持ちの良い青空のもと、全長5.5キロメートルを無事完歩し、ゴール地点の菜の花まつり会場へと到着しました。



ゴール地点：菜の花まつり会場にて

【地方振興事務所農業農村整備部】

## とうもろこし祭りに向けた栽培講習会を開催！

4月27日にJAみやぎ仙南川崎地区事業本部で、「川崎農産物直売所運営利用組合」主催のとうもろこし栽培講習会が開催されました。



とうもろこし栽培講習会の様子

講習会には「川崎農産物直売所」の出荷者15人が出席し、大河原農業改良普及センター職員を講師に、栽培管理のポイントや良品生産に向けた肥培管理・病害虫防除などについて講習が行われました。

「川崎農産物直売所」は国営みちのく杜の湖畔公園の向かいに位置しており、観光資源を活かした地域色豊かな産直施設を目指しています。毎年開催しているとうもろこし祭りも8月上旬に開催予定です。今年は果実が大きく、高糖度で食味の良いとうもろこし「ゴールドラッシュ」(株)サカタのタネ)を中心に栽培に取り組んでいます。

【地方振興事務所農業振興部・農業改良普及センター】

## 新たな銘柄牛肉生産へ始動「蔵王爽清牛」

蔵王町遠刈田温泉の「蔵王酪農センター」では、蔵王町内で操業する仙台コカ・コーラプロダクツ株式会社蔵王工場と提携し、この工場から生産されるペットボトル飲料の副産物である茶殻と、センターでのチーズ製造の際の副産物であるチーズホエイを組み合わせた混合飼料の開発と製造を手がけ、この飼料の肉牛への給与試験も4年前から行ってきました。この飼料を給与した牛肉が今年1月に新たな銘柄牛肉「蔵王爽清牛」としてお披露目されました。



1月に行われた「蔵王爽清牛」試食会の様子

茶殻も、チーズホエイも、工場から大量に排出された後は利用する方法がないため、大半は廃棄物となって処分されてしまいましたが、乳酸菌を加えて一定期間発酵させると牛用の飼料として利用できることから、環境負荷の軽減化を図ろうとする蔵王町の構想にマッチしました。また、精肉も比較的安価なことから、地産地消を進める食材として期待されています。

この「蔵王爽清牛」の牛肉は、酪農センター内のレストランや、県道12号線沿い蔵王町役場近くのレストラン「蔵夫土」でも調理して提供しています。ぜひ一度ご賞味ください。

【地方振興事務所畜産振興部・家畜保健衛生所】

「金ヶ瀬さくら大橋」現場見学会～大河原町立金ヶ瀬小学校～

5月1日、大河原町立金ヶ瀬小学校の児童を対象に、角田市から村田町をつなぐ広域農道（仙南東部地区）の一部となっている「金ヶ瀬さくら大橋」の工事現場の見学会を大河原町・大河原地方振興事務所が主催で開催しました。

金ヶ瀬さくら大橋は町民からの公募によってその名が選定された経緯もあり、地域に馴染みのある橋となることを願って、地元の小学生たちに工事現場の見学学習をしてもらいました。

当日は晴天のもと、児童38人・関係者28人が参加し、金ヶ瀬さくら大橋の工事作業状況の見学や大橋に続く大谷こ線橋の歩測体験、またコンクリートでの手型づくりを行いました。



コンクリート手型の作製模様



さくら大橋橋脚部にて

参加した児童たちは初めて目にする建設現場を間近にすると、興味津々の様子で作業状況を見学していました。今回見学した内容は児童たちが学級新聞としてとりまとめ、学校での社会科学習に活かされるとともに子どもたちの記憶に残るものとなったことでしょう。

作製したコンクリート手型は、大橋が架かる白石川堤防の護岸に配置される予定となっており、子どもたちが大人になってもこの大橋に愛着を持ってくれることを願っています。

【地方振興事務所農業農村整備部】

森に学ぼう「うるおいの森づくり」親子自然体験学習会

環境問題への関心が高まる中、社会貢献を目的とした森林づくりに参加したいと考える企業が増えています。そこで宮城県では、森林づくり活動を行おうとする企業の方々と森林所有者などが協働で行う、「みんなで進める宮城美しい森林づくりプロジェクト」を進めています。

「うるおいの森づくり」は仙台コカ・コーラボトリング株式会社と土地所有者の沢内共有会が協働で行う森づくり活動です。約2.5㏊の伐採跡地に5年をかけて5,000本の広葉樹の植栽を行う計画で、今年はそのスタートの年です。その一環として、5月12日に蔵王町の青麻下山<sup>あおぞしもやま</sup>で親子自然体験学習会が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、仙台市や蔵王町から参加者された親子、スタッフとして参加した仙台コカ・コーラボトリングの社員の方、植樹指導や会場設営などを担当した宮城県森林インストラクターや白石蔵王森林組合の方々など総勢230人が協力し、用意されたコナラ、クヌギ、アオダモの苗木1,000本の植栽を行いました。



森林インストラクターの指導のもと植林を楽しみました



たくさんの方々に森林の大切さを感じていただきました

昼食後には、宮城県森林インストラクターの方々の企画で、竹トンボや、笛づくりや、ミニ観察会などが行われ、参加した方々からは「来年も参加したい」という声や、「何十年後かにこの森の成長を見てみたい」という声も聞かれました。また、青麻山山麓の植樹場所からは仙台コカ・コーラプロダクツ株式会社蔵王工場を眺めることができました。

工場長さんから「蔵王工場では地下水を使い飲み物を作っています。おいしい飲み物をつくるには、おいしい地下水が必要です。皆さんが植樹してくれた森のおかげで、これからもおいしい飲み物をつくるができます」というお話もあり、皆さん、森の役割を実感することができたようです。

【地方振興事務所林業振興部】

New オススメ！こだわりの食材情報



大河原地方振興事務所では食育・地産地消の推進を図るため、地場食材利用拡大広報誌「みやぎ蔵王三十六景 こだわりの食材ニュース」を発行し、飲食店や給食施設などに地場農林畜産物や加工品の生産情報、地産地消の取り組み事例などの情報を提供してまいりました。

今年度から「SENNAN THE KING」と統合し、「オススメ！こだわりの食材情報」としてより多くの皆さまに地場食材の情報を提供することといたしました。

旬でおいしい仙南地域の食材情報をお伝えしていきますので、ご賞味、ご活用いただきますようお願いいたします。

ブルーベリーは7月が旬です！

ブルーベリーはアメリカ原産のツツジ科の果樹で、管内では、白石市、角田市、蔵王町、大河原町、丸森町に約 10ha 栽培されています。5 月上・中旬に開花し、品種により熟期が異なるため 6 月下旬から 8 月上旬まで収穫でき、7 月が旬です。

一つの果そうに 5～10 個の果実が結実します。同じ果そうの中でも熟期が異なるため、熟した果実だけを摘み取るのは大変な作業になります。熟した果実は甘く、未熟な果実は酸味があるので、摘み取り園では数個まとめて食べるのがおいしい食べ方かもしれません。



5月ブルーベリーの花



7月ブルーベリーの果

【地方振興事務所農業振興部・農業改良普及センター】

麦秋に輝く「あおばの恋」

麦畑では穂が実りつつあり、6月中旬から下旬にかけて麦秋の時期を迎えます。

仙南地域では大麦を見かけることが多いですが、昨年仲間入りした新しい小麦奨励品種があります。それが「あおばの恋」です。現在、角田市や白石市に作付され、県内の主要産地になっています。「あおばの恋」は小麦粉にしやすく、色や食感が優れた「かんでもちもち、のど越しは滑らか」なおいしい麺の原料となり、これまでに、うどん、そうめんなどの商品が販売されています。また白石興産株式会社（白石市）と宮城大学、県古川農業試験場の産学官連携による「温麺プロジェクト」を通して、食味の追及や安定生産技術を研究し、白石温麺の材料としての活用が見込まれています。「あおばの恋」のおいしい麺をぜひお試しください。



「あおばの恋」の麦畑



「あおばの恋」を使用した麺商品  
(白石興産株式会社)

【地方振興事務所農業振興部・農業改良普及センター】

お知らせ

東日本大震災で被災された事業者・観光事業者の皆さまの事業再開を支援します

県では、東日本大震災で大きな被害を受けられた事業者、観光事業者の皆さまの事業再開を支援するため、被災した施設・設備を復旧するために必要な費用の一部を補助する下記の補助金の申請を受け付けています。受付期間は、5月28日(月)から6月29日(金)午後5時までとなっております。詳しくは下記の問い合わせ先までお願いします。

補助金の概要

補助金名	事業内容	問い合わせ先
地域商業等事業再開支援補助金	対象者：次のすべてに該当する事業者 卸売業、小売業、飲食業、運輸業、サービス業を営んでいること 施設（店舗、事務所等）の被害が全壊又は大規模半壊であること 原則として県内で事業を再開または継続すること 国・県が実施する施設・設備関連支援事業を利用していないこと 補助対象経費が200万円（消費税分を除く）以上であること 対象経費：被災した施設の修復・建替及び設備の修繕・入替又は当面の事業再開に必要な代替施設・設備の取得、借上げに要する経費 補助率：対象経費の2分の1以内 補助限度額：上限300万円、下限100万円	地方振興部 商工・振興第一班 0224-53-3199
観光施設再生支援事業補助金	震災により被災した観光事業者(中小企業等)の再建・復旧を支援するため、施設・設備の復旧に要する経費の一部を補助します。 対象施設：(1)ホテル、旅館などの宿泊施設(2)その他特に認める観光集客施設 補助率：補助対象経費の2分の1以内 補助限度額：上限1,000万円、下限100万円	地方振興部 振興第二班 0224-53-3182

申請書類等は、県ホームページからダウンロードできます。

[ 地域商業等事業再開支援補助金 ] <http://www.pref.miyagi.jp/syokeisi/>

[ 観光施設再生支援事業補助金 ] <http://www.pref.miyagi.jp/kankou/>

【地方振興事務所地方振興部】

エイズ検査・骨髄バンク登録のお知らせ

仙南保健所では、エイズ検査・骨髄バンク登録を行っています。

エイズ検査日 毎月第2・第4火曜日 午後1時から3時まで  
骨髄バンク登録日 毎月第2・第4火曜日 午前9時から10時まで  
予約が必要です。  
相談は、平日午前8時30分から午後5時15分まで随時受け付けています。  
相談・予約申込先 仙南保健所 疾病対策班(0224-53-3121)



【保健福祉事務所・仙南保健所】

ヒナを拾わないで

初夏になると「鳥のヒナを拾ったのですが、どうしたらいいですか」という問い合わせが多く寄せられます。しかし、そのほとんどが、まだ飛ぶ力がついていないで巣立ち直後のヒナが地面に降りているだけで、保護しなくても良いケースです。

巣立ち直後のヒナはあまり動きません。親鳥は人がヒナの近くにいと警戒して来られません。少し離れた場所から親鳥がもどってくるか観察して下さい。

なお、野鳥のヒナは許可なく飼うことは法律で禁止されています。

【地方振興事務所林業振興部】

# SENNAN THE KING

## 平成24年度狩猟免許試験及び更新のお知らせ

### 【狩猟免許試験について】

新規に狩猟（わな猟も含む）を予定している方は、狩猟免許が必要となります。平成24年度の試験は下記により行われます。

開催年月日	場 所
平成24年7月28日（土）「全種」	クレー射撃場（大研修室・小研修室）
平成24年8月25日（土）「全種」	宮城県庁舎（講堂、第一・二入札室）
平成24年9月 8日（土）「わな猟限定」	大河原合同庁舎（大会議室）

時間：午前9時15分から午後5時まで  
 問い合わせ先：林業振興部森林管理班（0224-53-3252）

### 【狩猟免許の更新について】

平成21年度に更新手続きされた方は狩猟免許の有効期間である3年が満了しますので、狩猟を継続する予定の方は更新手続きが必要です。

なお、失念した場合は新規扱いとなり免許試験を受けることになります。

#### 1 開催日程及び対象者

開催年月日	対象者（住所を有する方）
平成24年6月28日（木）	蔵王町・七ヶ宿町
平成24年6月29日（金）	白石市
平成24年7月 4日（水）	大河原町・村田町
平成24年7月10日（火）	柴田町・川崎町
平成24年7月18日（水）	角田市
平成24年7月19日（木）	丸森町

2 開催場所 宮城県大河原合同庁舎 4階大会議室

3 時 間 午前9時15分から午後4時まで

問い合わせ先：林業振興部森林管理班（0224-53-3252）

【地方振興事務所林業振興部】

## 歳時記（6月～9月）

中止または内容が変更されることがありますので、お出かけ前に市町などにご確認ください。

月	日	行 事	市 町	
六 月	1日～7月31日	まるごとうーめんまつり	白石市	
	2～3日	大道芸フェスティバルinとおがった	蔵王町	
	2～24日	ボビーまつり	川崎町	
	15～17日	そら豆まつり	村田町	
	16日	市民バスきゃっするくんでいく「ちよい旅」	白石市	
	16～17日	呑んべん駄ラリ～	蔵王町	
	16～24日	手作り甲冑 甲冑展	白石市	
	17日	シルク和紙漉体験	丸森町	
	中旬～下旬	齋理屋敷特別企画展「押し花作品展」	丸森町	
	23日	高蔵寺ホタルまつり	角田市	
	23日	まるごと味わいウォーキング	白石市	
	23～24日	ウチョウラン（羽蝶蘭）展	村田町	
	24日	うめ・梅まつりinかくた	角田市	
	24日	おおがわら梅まつり	大河原町	
七 月	7～8日	蔵の町むらた・工芸市	村田町	
	中旬	齋理屋敷特別企画展「三人展」	丸森町	
	14～29日の土日祝日	夏休み親子宇宙教室		
	中旬～下旬	齋理屋敷特別企画展「人形展」	丸森町	
	中旬～10月	空中さんぽde星空さんぽ	蔵王町	
	21日	ザ・フェスティバル in しばた	柴田町	
	28日	2012みやぎ川崎夏祭り	川崎町	
	28～29日	SUPER GTシリーズ第4戦 SUGO GT 300km	村田町	
	下旬	蔵王連峰夏山登山	白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町	
	下旬	大河原夜市	大河原町	
	八 月	4日	金津七夕祭り	角田市
		11日	齋理幻夜	丸森町
		11～12日	白石夏まつり（パレード・花火大会）	白石市
14日		かくたふるさと夏まつり	角田市	
17日		宗高公まつり・花火大会	村田町	
中旬		夏の検断屋敷まつり	白石市	
中旬		遠刈田温泉仮装盆踊り大会	蔵王町	
中旬		おおがわら夏まつり	大河原町	
中旬		とうもろこし味来（みらい）まつり	村田町	
25日		七ヶ宿火まつり	七ヶ宿町	
26日		わらじで歩こう七ヶ宿	七ヶ宿町	
31日～9月2日	高円宮牌グラススキー・ジャパンオープン	七ヶ宿町		
下旬	バンドフェスタ in しばた	柴田町		
九 月	中旬～11月上旬	石羽古碑かかし街道	丸森町	
	16日	しろいし蔵王高原マラソン大会	白石市	
	中旬	JAXA 施設一般公開	角田市	
	中旬	ございん市「梨まつり」	蔵王町	
	中旬	齋理屋敷特別企画展「押し花作品展」	丸森町	
	中旬～下旬	ひまわりまつり（館矢間ひまわり畑）	丸森町	
	中旬～10月中旬	みちのく公園・コスモス&コキア de COKO フェスタ	川崎町	
	中旬～11月末	阿武隈ライン舟下り「いも煮舟」	丸森町	
	下旬	いちじ（祭り）	角田市	
	下旬	田んぼアートでGOコンだ！（稲刈り）	角田市	
下旬	新米まつり	村田町		
下旬	齋理屋敷特別企画展「秋の盆栽展」	丸森町		

## みやぎ蔵王三十六景 夏のお勧めスポット

## 横川やまびこつり橋（よこかわやまびこつりばし）（七ヶ宿町）

やまびこつり橋がある横川は、かつて「木地師の里」として知られていました。木地師とは口ク口を使って木製の器具造りを生業とした人々で、こけし工人のルーツと言われています。彼らは角田の殿様に命ぜられ、足軽としてこの地に根付き、明治末期まで木地挽きを生業としていましたが、時代の流れとともに徐々に木地挽きは影を潜めていきました。

昭和 61 (1986) 年、失われつつある伝承を後世に伝えようと、横川の人々によって「木地の里記念碑」が建立されましたが、残念ながら現在「木地」を生業としている人はいません。

やまびこつり橋からはとても清らかな渓谷と蔵王連峰最南端の不忘山が一望できます。木地師たちもこの景色を眺めたのでしょうか。



木地師の里、横川集落からほど近いやまびこつり橋からは、雄大な不忘山が。周辺には長老湖や南蔵王青少年旅行村など、お楽しみスポットが揃っています。

## 丸森・金山・小斎阿武隈川南岸（まるもり・かねやま・こさいあぶくまがわなんがん）（丸森町）

山間を流れる阿武隈川は、福島県を縦断し、宮城県を流れ亘理町荒浜で太平洋に注ぐ、舟運が盛んに行われた大河です。

丸森町から亘理町荒浜までは、江戸の初期から舟による物資の輸送が行われていましたが、福島から丸森までは激流地帯のため舟運は遅れていました。

1665 年頃、福島から江戸に年貢米を運ぶ必要から開発が進み、海運と結び付き大いに発展してきました。船での輸送は、汽車や自動車輸送が普及する昭和初期まで利用されました。

この舟運とともに江戸時代後期から昭和初期にかけ七代にわたり栄えたのが豪商、齋藤理助氏。その屋敷および収蔵品を町が寄贈を受け「蔵の郷土館」として昭和 63 (1988) 年に解放したのが「齋理屋敷」です。蔵と屋敷には、豪商の暮らしぶりを物語る衣類や調度品が展示され、当時の繁栄を感じさせます。



山間を流れる阿武隈川も丸森～金山～小斎に入ると川幅を広げ大きく蛇行します。清らかな阿武隈川の流れごしに遠く蔵王連峰を望むことができます。

## 表題『sennan the king』について

仙南地域のシンボルである蔵王は、地域にとって、言わば『王様』です。

大河原地方振興事務所では、その蔵王を仙南地域共有の大切な財産とし、地域の皆さまとともに、地域振興を進めていきます。

## 次号は 9 月の発行予定です

内容についてのご意見、ご要望、お問い合わせなどは、下記までお寄せください。

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部

〒989-1243 柴田郡大河原町字南129-1

TEL: 0224-53-3182(直通) FAX: 0224-53-3076

e-mail: oksinbk2@pref.miyagi.jp